

平成23年度事業報告

I. 事業の状況

① 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第4条（1））

- ・第52回本多記念賞、第8回本多フロンティア賞、第32回本多記念研究奨励賞及び第51回原田研究奨励賞を下記のとおり贈呈した。

第52回本多記念賞（1名）

坂 公恭 名古屋大学エコトピア科学研究所特任教授
（名古屋大学名誉教授）

対象研究「透過型電子顕微鏡による無機材料の微細構造とプロセッシング
のキャラクタリゼーション」

第8回本多フロンティア賞（1名）

川崎 雅司 東京大学大学院工学系研究科
量子相エレクトロニクス研究センター教授

対象研究「酸化物界面の原子レベル制御による新光電子機能の開拓」

第32回本多記念研究奨励賞（3名）

幸坂 祐生 独立行政法人理化学研究所基幹研究所研究員

対象研究「走査トンネル顕微鏡法/分光法を用いた銅酸化物高温超伝導体
の電子自己組織化と準粒子状態に関する研究」

佐藤 裕 東北大学大学院工学研究科准教授

対象研究「摩擦攪拌接合現象およびメカニズムに関する材料学的研究」

高橋 有紀子 独立行政法人物質・材料研究機構主幹研究員

対象研究「微細組織制御による超高密度 FePt 磁気記録媒体の開発」

第51回原田研究奨励賞（3名）

磯上 慎二 福島工業高等専門学校准教授

対象研究「極薄トンネル障壁層界面構造の改善による強磁性トンネル
接合の低抵抗・高出力化」

松本 洋明 東北大学金属材料研究所助教
対象研究「Ti合金材の新しい組織制御プロセスに関する研究」

森戸 春彦 東北大学多元物質科学研究所助教
対象研究「単結晶を用いた強磁性形状記憶合金の結晶磁気異方性に関する研究」

② 学術講演会の開催及びその援助（定款第4条（2））

- ・本多記念賞等贈呈式記念講演会を下記のとおり行った。

日 時 平成23年7月1日（金）
場 所 学士会館

演 題 「透過型電子顕微鏡による無機材料の微細構造とプロセッシング
のキャラクタリゼーション」
講 師 名古屋大学エコトピア科学研究所特任教授 坂 公恭
(名古屋大学名誉教授)

演 題 「酸化物界面の量子現象」
講 師 東京大学大学院工学系研究科
量子相エレクトロニクス研究センター教授 川崎 雅司

参加者数 128名

- ・平成23年度本多光太郎記念講演会（日本金属学会北海道支部外7支部と共催）

北海道支部

日 時 平成24年1月19日（木）
場 所 北海道大学 学術交流会館 小講堂
演 題 「医療用コバルトクロム合金の組織制御と新規加工プロセス
技術」
講 師 東北大学金属材料研究所 千葉 晶彦 教授

参加者数 60名

東北支部

日 時 平成24年1月10日（火）

場 所 東北大学多元物質科学研究所 材料物性棟 大会議室
講演題目 「金属系多孔質材料の新展開」

演 題 「鉄系多孔質材料の製造法とその特性」
講 師 東北大学大学院環境科学研究科 准教授 村上 太一

演 題 「無機系発泡剤を用いたアルミニウム発砲材料」
講 師 東北大学多元物質科学研究所 教授 中村 崇

演 題 「マクロおよびナノ多孔質化によって創られる材料機能」
講 師 大阪大学産業科学研究所 教授 中嶋 英雄

参加者数 63名

関東支部

日 時 平成23年9月28日(水)、29日(木)
場 所 日本電子株式会社 本社昭島製作所 開発館

演 題 「SEMの基礎と上手な使い方」
講 師 日本電子株式会社 小倉 一道

演 題 「SEM/EDSによる元素分析の基礎」
講 師 日本電子株式会社 鈴木 康朗

演 題 「SEM/EBSDによる結晶解析の基礎」
講 師 株式会社TSLソリューションズ 鈴木 清一

参加者数 15名

東海支部

日 時 平成23年11月11日(金)
場 所 名古屋大学 ES総合館 ESホール
演 題 「金属加工の可能性 ―塑性加工を中心として―」
講 師 東京大学名誉教授 木内 学

参加者数 93名

北陸信越支部

日 時 平成23年12月3日(土)
場 所 金沢工業大学
演 題 「プラズマおよびイオンビームによる材料表面の改質」
講 師 金沢工業大学 工学部 教授 作道 訓之

参加者数 200名

関西支部

日 時 平成23年7月15日(金)
場 所 大阪市・大阪科学技術センター 8階 小ホール
演 題 「金属間化合物研究から超々合金創成へ」
講 師 大阪府立大学 教授 高杉 隆幸

参加者数 39名

中国四国支部

日 時 平成23年8月9日(火)
場 所 岡山市・岡山国際交流センター
演 題 「歯車が金属材料に求めるもの」
講 師 岡山理科大学 教授 滝 晨彦

参加者数 50名

九州支部

日 時 平成23年10月21日(金)
場 所 熊本大学工学部
演 題 「非鉄精錬スラグからの重金属の溶出性と溶出防止について」
講 師 熊本大学 教授 河原 正泰

参加者数 53名

- ③ その他目的を達成するために必要な事業(定款第4条(3))
- ・パンフレット「本多光太郎博士を偲んで」を作成し講演会等で配付した。